



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年11月13日

上場会社名 株式会社 True Data 上場取引所 東
コード番号 4416 URL <http://www.truedata.co.jp/>
代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）米倉 裕之
問合せ先責任者 （役職名）執行役員 （氏名）上田 忠彦 TEL 03-6430-0721
半期報告書提出予定日 2025年11月13日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	867	13.0	42	10.2	47	24.6	37	494.6
2025年3月期中間期	767	△2.3	38	—	38	—	6	—

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	7.65	7.59
2025年3月期中間期	1.30	1.30

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	1,390	1,120	80.6
2025年3月期	1,362	1,080	79.3

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 1,120百万円 2025年3月期 1,080百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年3月期	—	0.00			
2026年3月期（予想）			—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,000	28.7	160	231.1	162	230.2	129	882.4	26.89

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（中間期）

2026年3月期中間期	4,841,200株	2025年3月期	4,833,800株
2026年3月期中間期	-株	2025年3月期	-株
2026年3月期中間期	4,839,514株	2025年3月期中間期	4,778,400株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間貸借対照表	4
(2) 中間損益計算書	6
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間会計期間におけるわが国経済は、円安の影響等による物価高により実質所得が伸び悩み足踏み状態ながらも、各種政策の効果もあって雇用・所得環境が改善する中で緩やかな景気の回復がみられました。一方で、欧米における高い金利水準の継続、それに伴う日本との金利差による円安基調、中国における不動産市場停滞の継続や個人消費の不振、ウクライナ問題の長期化や中東情勢の緊張継続、米国の通商政策動向など海外の政治・経済の諸課題による影響も大きく、景気の先行きに対する不透明感は継続しました。

当社は、全国に広がるドラッグストアやスーパーマーケット等の小売店における消費者購買ビッグデータとAI等テクノロジーを活用し、小売企業や消費財メーカーなど顧客企業の収益拡大に貢献するソリューションの提供を主力事業としております。当社の事業領域はビッグデータを用いた社会構造変革や企業のデジタルトランスフォーメーション(DX)というメガトレンドの追い風を受け、中長期的な成長が見込まれております。当社においてもこのような追い風を受けつつ、小売企業や消費財メーカーの顧客企業の開拓・深耕が進み、成長トレンドが継続しております。

当中間会計期間においては、主力サービスである「イーグルアイ」の契約社数を着実に積み上げ、安定的な収益基盤の強化を図りました。また、前期に受注した大型案件である大手小売向けリテールDXサービスの納品に伴い、一時的なスポット収益を計上しました。加えて、ウエルシアホールディングス株式会社向けのAI販促やウエルシア薬局株式会社向けの出店時売上予測サービスなどAIソリューション提供による収益寄与が開始しました。中期的な成長に向けた新たな取り組みとして、アルフレッサヘルスケア株式会社との協業による購買データ分析クラウドサービス「Ms-POS」や、ソニーグループのSMN株式会社との広告用購買データ連携など協業による新ソリューションの提供を開始しました。

この結果、当中間会計期間の経営成績は、売上高867,295千円(前年同期比13.0%増)、営業利益は42,938千円(前年同期比10.2%増)、経常利益は47,820千円(前年同期比24.6%増)、中間純利益は37,016千円(前年同期比494.6%増)となりました。

なお、当社は、データマーケティング事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 当中間期の財政状態の概況

①資産・負債及び純資産の状況

(資産の部)

当中間会計期間末における資産合計は、前事業年度末に比べ27,544千円増加し1,390,185千円となりました。流動資産は、売上代金の回収により売掛金が減少した一方、現金及び預金が増加し、1,150,740千円と前事業年度末に比べ8,468千円増加しました。固定資産は、ソフトウェアの減価償却が進んだものの、ソフトウェア開発及び出資金の払込により無形固定資産が増加したため、239,444千円と前事業年度末に比べ19,076千円増加しました。

(負債の部)

当中間会計期間末における負債合計は、前事業年度末に比べ12,082千円減少し269,759千円となりました。流動負債は、契約負債が増加した一方、主に買掛金や未払金等の減少により、265,921千円と前事業年度末に比べ12,100千円減少しました。

(純資産の部)

当中間会計期間末における純資産合計は、前事業年度末に比べ39,626千円増加し1,120,425千円となりました。中間純利益の計上により利益剰余金が37,016千円増加したほか、ストック・オプションの行使により資本金が1,305千円増加し、さらに資本剰余金も1,305千円増加いたしました。

②キャッシュ・フローの状況

当中間会計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は908,682千円と、前事業年度末に比べ49,124千円増加いたしました。当事業年度末における各キャッシュ・フローの状況及び変動要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当中間会計期間における営業活動により獲得した資金は108,034千円（前年同期は88,541千円の獲得）となりました。これは主に、税引前中間純利益47,404千円、減価償却費32,158千円、売上債権の減少額36,177千円、未払金の減少額18,900千円があったことによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当中間会計期間における投資活動により使用した資金は56,040千円（前年同期は64,301千円の支出）となりました。これは主に、出資金の払込による支出32,500千円及び無形固定資産の取得による支出10,829千円によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当中間会計期間における財務活動により使用した資金は2,870千円（前年同期は17,710千円の支出）となりました。これは、長期借入金の返済による支出5,480千円があった一方で、新株の発行による収入2,610千円があったことによるものです。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の業績予想につきましては、概ね期初計画通りに進捗しており、2025年5月14日の「2025年3月期決算短信」で公表いたしました業績予想の数値から変更はありません。

なお、今後業績予想に修正の必要が生じた場合には、速やかに開示いたします。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当中間会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	859,557	908,682
売掛金	195,859	159,682
前払費用	67,335	59,287
その他	19,520	24,078
貸倒引当金	-	△990
流動資産合計	1,142,272	1,150,740
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備(純額)	5,991	5,263
工具、器具及び備品(純額)	20,628	21,162
建設仮勘定	-	863
有形固定資産合計	26,620	27,289
無形固定資産		
ソフトウェア	76,327	100,219
ソフトウェア仮勘定	40,418	1,107
その他	1,954	1,775
無形固定資産合計	118,700	103,101
投資その他の資産		
投資有価証券	7,485	7,485
出資金	25,000	55,443
繰延税金資産	27,257	25,870
その他	15,304	20,253
投資その他の資産合計	75,046	109,053
固定資産合計	220,368	239,444
資産合計	1,362,640	1,390,185

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当中間会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	51,003	44,358
1年内返済予定の長期借入金	5,480	-
未払金	29,127	10,553
未払費用	13,596	14,380
未払法人税等	13,989	17,463
未払消費税等	16,530	21,539
契約負債	90,860	98,706
賞与引当金	22,702	23,200
その他	34,731	35,719
流動負債合計	278,021	265,921
固定負債		
資産除去債務	3,820	3,837
固定負債合計	3,820	3,837
負債合計	281,841	269,759
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,370,469	1,371,774
資本剰余金		
資本準備金	209,959	211,264
資本剰余金合計	209,959	211,264
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	△499,629	△462,612
利益剰余金合計	△499,629	△462,612
株主資本合計	1,080,798	1,120,425
純資産合計	1,080,798	1,120,425
負債純資産合計	1,362,640	1,390,185

(2) 中間損益計算書

(単位: 千円)

	前中間会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	767,306	867,295
売上原価	326,593	363,688
売上総利益	440,712	503,607
販売費及び一般管理費	401,764	460,668
営業利益	38,948	42,938
営業外収益		
受取利息	88	865
受取保険金	-	4,125
受取補填金	-	1,440
雑収入	797	585
営業外収益合計	885	7,016
営業外費用		
支払利息	47	6
投資事業組合運用損	-	2,056
為替差損	0	0
株式交付費償却	1,413	-
雑損失	-	72
営業外費用合計	1,462	2,134
経常利益	38,372	47,820
特別損失		
投資有価証券評価損	26,335	-
固定資産除却損	-	415
特別損失合計	26,335	415
税引前中間純利益	12,037	47,404
法人税、住民税及び事業税	5,171	9,001
法人税等調整額	640	1,386
法人税等合計	5,812	10,388
中間純利益	6,225	37,016

(3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間純利益	12,037	47,404
減価償却費	19,389	32,158
株式交付費償却	1,413	-
貸倒引当金の増減額(△は減少)	-	990
賞与引当金の増減額(△は減少)	5,612	498
固定資産除却損	-	415
受取利息	△88	△865
受取保険金	-	△4,125
支払利息	47	6
投資事業組合運用損益(△は益)	-	2,056
為替差損益(△は益)	0	0
売上債権の増減額(△は増加)	36,930	36,177
前払費用の増減額(△は増加)	10,045	8,050
仕入債務の増減額(△は減少)	△6,409	△6,645
未払金の増減額(△は減少)	△374	△18,900
未払費用の増減額(△は減少)	△4,961	784
未払消費税等の増減額(△は減少)	△148	5,636
契約負債の増減額(△は減少)	△26,623	7,846
その他	38,815	△3,656
小計	85,687	107,831
利息の受取額	88	865
保険金の受取額	-	4,125
利息の支払額	△47	△6
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	2,813	△4,781
営業活動によるキャッシュ・フロー	88,541	108,034
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△8,163	△7,470
有形固定資産の除却による支出	-	△287
無形固定資産の取得による支出	△55,742	△10,829
敷金の差入による支出	△395	-
出資金の払込による支出	-	△32,500
保険積立金の積立による支出	-	△4,952
投資活動によるキャッシュ・フロー	△64,301	△56,040
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△17,710	△5,480
株式の発行による収入	-	2,610
財務活動によるキャッシュ・フロー	△17,710	△2,870
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	6,529	49,124
現金及び現金同等物の期首残高	937,529	859,557
現金及び現金同等物の中間期末残高	944,059	908,682

（４）中間財務諸表に関する注記事項

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

当社は、データマーケティング事業のみの単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。